

# 農業生産システム工学特論 I (2単位)

担当者氏名 坂口栄一郎・田島淳

◆学習・教育目標

農業は生物を対象に、自然環境と社会的条件下で、人間が生産を営む場である。したがって農業生産に係った要素は非常に多く多種多様で、それらが相互に関連し合って農業生産の向上という目的をはたす機能をもつため、農業生産は大規模で複雑なシステムである。その農業生産システムの目的を最もよく達成するために、システムの構成要素、組織構造、情報の流れ、制御機構を分析し、最適な計画、制御、運用に関して設計する技術が農業生産システム工学である。本特論 I では、農業生産システムを構成するサブシステムを取り上げて、それらの計画と評価を行い、特性を把握することを学習・教育目標とする。なお、この科目は必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業生産	システム	農業機械	サブシステム
計画	評価	データ解析	

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	農業生産システム工学とは（第 1～5 週）	農業生産システムの特徴	農業機械に関する学部の授業内容の復習をしておくこと。
2			
3			
4			
5			
6	システムの計画と評価（第 6～10 週）	農業生産において取り上げたサブシステムの目標の設定や計画立案	
7			
8			
9			
10	システムの特徴の把握（第 11～15 週）	農業生産において取り上げたサブシステムの特徴を把握するためのデータ解析	
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）  
 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）  
 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポート 50 点，宿題などの課題 50 点

◆その他受講上の注意事項

